

—淡路の情報がいっぱい!生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



いろど 彩り豊かな淡路の美



VOL.220

もくじ

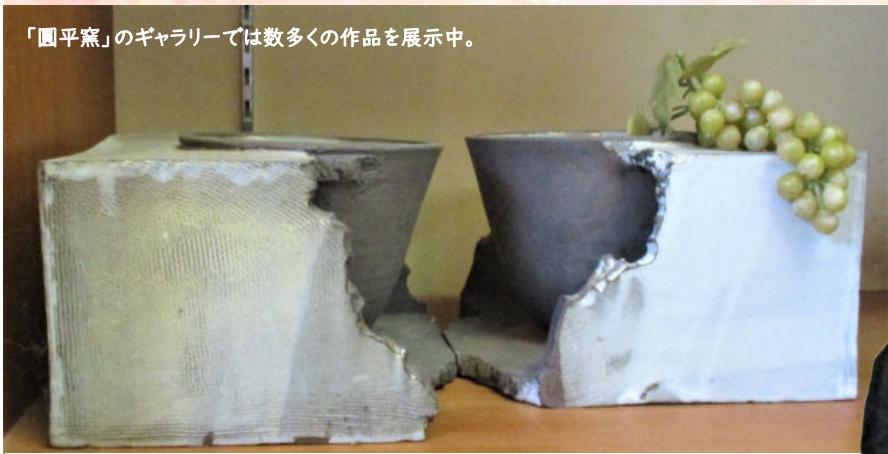
P1 圓平窯 P2 ギャラリーBANYA・稲家さん1 P3 大歳久美子さん・稲家さん2 P4 いついろ・スマホでアート P5 シャッターアート・トンネル壁画
P6 淡路文化会館・淡路県民局・兵庫県庁交通安全室からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



淡路島で現在まで続く
最も古い窯元

小倉 圓平さんの作品

「圓平窯」のギャラリーでは数多くの作品を展示中。



気軽に見に来て
くださいね。

圓平窯

三代目
小倉 圓平さん
小倉 麻衣子さん



えん べい がま

圓平窯 洲本市上物部2丁目1-38 電話 0799-22-3645 *事前連絡必要

私の身近な淡路島の芸術家という、真っ先に浮かんだのは焼き物の圓平窯でした。圓平窯は洲本市の県立あわじ特別支援学校の近く、千草川沿いにあります。この圓平窯、淡路島で現在まで続く最も古い窯元で、現在は三代目の小倉圓平さんが継いで、長女の小倉麻衣子さんとともに作陶に励んでいます。作品は多彩な釉薬を用い、初代や二代目から続く伝統的な陶器やオリジナル作品、陶彫(オブジェ)など、独創的な作品を生み出しています。

圓平さんは20才のころから作品作りを始められて50年あまりになるそうですが、これからも常に新しいものを求めて陶芸や陶彫を続けていきたいと話されていました。圓平さんの長女の麻衣子さんは、幼いころから二代目祖父や三代目父の姿を見て育ち、自然と陶芸の世界に入っていたそうです。学生時代はオブジェを勉強し、圓平さん同様、陶器とともにオブジェの制作にも力を入れているそうです。陶器といえば茶器や日本料理の器を思いますが、麻衣子さん

の作品は日本料理はもちろんのこと西洋料理など、どのような料理にも合う現代的なデザインや色彩を使って作られています。これからも土の表現のおもしろさや土の持っている可能性、女性らしい曲線美を作品に表したいと話されていました。

小倉家の皆さんですが、圓平さんの奥さまの秀子さんは洋画家であり、麻衣子さんの弟さんと妹さんはドイツ在住でそれぞれがアトリエを持ち、平面や立体の現代アート作家として活動されています。まさに小倉家は芸術家一家ですね。

毎年洲本市文化体育館で開催される洲本市美術展(市展)には圓平さんと麻衣子さんが「彫塑の部」、秀子さんは「洋画の部」でそれぞれ招待作家として出展されています。今年の洲本市美術展は10月30日から11月3日までです。三人の作品やたくさんのお出展者の作品をご覧になってはいかがでしょうか。(応援隊: 田処 巻久)



みんながときめく家族ぐるみの作品を展示

ギャラリー BANYA



国道28号「平安浦」の信号を北に100m位進んだ所を山側に少し入ると、「BANYA」と書かれた手作りの表札が目にとまります。そこを玄関の方へ行くと長い年月をかけて家族が丹精込めて作った作品を大切に展示している「ギャラリー BANYA」があります。「ギャラリー」は仏語で美術品の展示場、「BANYA」は元々は番人の詰所で、その後は仕事に使う農器具を入れたり、仕事に来た人が宿泊したりしていたそうで、現在は、築100年位の私邸の長屋を改装して造った部屋全部が現代美術作家・前川和昭さんご家族の作品の宝庫となっています。



現代美術作家・前川和昭さんFamilyの作品がいっぱい



洲本市安乎町平安浦1953
 電話 / 0799-28-1379 不定休
 営業時間 / 10:00~17:00 (要事前連絡)



最初に出迎えてくれるのは息子の秀樹さんが数十年前に制作した作品。顔は山羊で首からは人間の等身大、イスに座って穏やかな表情で手にはカラーの花束を持って今にもお声かけくださる雰囲気が出ています。そのホールにあるテーブル、イス、庭にある動物などにも温かみがにじみ出ています。

また、前川さんの工房「レスパーマブロン」は仏語で白い部屋を意味し夢の世界に引き込まれそうです。前川さんのお父さんが書道家だったので常に半紙があり、半紙を使っての和、洋の作品を数多く制作しています。

前川さんは、教師を退職後、淡路文化会館で洋画セミナーに携わられました。「恩師との出会いも印象深いものがあり、人との出会いを大切にし、絵の具、紙、道具、材料などとの出会いも大事にしたい。ものまねではなく、自分で創作するのが楽しく感じるのがよい。最初は油絵から始めた美術だが、抽象画で頭が柔軟に変わらなければダメだと思っている。そして、自分が行動してワクワクするのが良い。先が見えないのも楽しい。」とおっしゃっていました。また、「道(方法)は一つではなく、絵も彫刻も同じで、自分がときめいて、人もときめくのが一番良い。」と締めくくっていただきました。その後、小さい声で「奥さんの批評が一番きつい。」と言って、ニコッと笑っていました。これこそ夫婦円満の秘訣と学ばせていただきました。(応援隊：廣岡ひろ子)

日本の風景、淡路の祭り等を65年間撮り続け、現在、淡路文化会館で写真展を行っている稲家茂さんを訪問させて頂きました。

80歳とお聞きしていましたが、歳を感じさせないお元気な様子に、まず、びっくり。そして、これまでに撮ってこられた写真を見せて頂き、驚きの連発でした。また、愛用のカメラを手に取りらせていただき、そのずっしりとした重さにこれまでの写真への想いの大きさを感じました。



10月21日~11月10日
 淡路文化会館

八十歳の思い出写真展

淡路市中田 稲家茂さん



写真との出会いは、高校へ入学して写真部に入部し、米沢先生との出会いからだそうです。卒業後、銀行にお勤めになられてから退職されるまで、そして、株式会社御所営農を立ち上げ、地域で活躍されている今も尚、その写真への情熱は変わりなく続いているとお話を伺いながら感動しました。

(P3へ続く)



大歳さんが企画制作「淡路神話 くにうみ」

【プロフィール】

淡路市出身
東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。
箏・三絃・十七絃・二十五絃演奏家。沢井忠夫氏など多くの演奏家に師事。NHK育成会演奏会やDVD「箏の物語」の収録参加。



古事記編纂1300年記念(平成24年)組曲『大和のまほろば』の制作・出演。
2019年3月、洲本市文化体育館で開催された、ちどりの会主催「-今いちどありがとう淡路島-」に、山口崇氏、山口太郎氏(父子)、その門下生らとともに出演。令和2年9月20日、伊弉諾神宮特設舞台で開催された<第13回国生み神楽祭>において自らが企画制作した「日本書紀編纂千三百年(令和2年)記念・淡路神話くにうみ」を奉納演奏されました。



子どもたちにも

きれいな音♪



学校での演奏活動

淡路島の誇りである国生み神話を学んでもらい、日本古来の箏を通じて日本の良さを知って欲しい。生の演奏を聴く・本物の箏に触れる、そして演奏してみる。淡路島に生まれたことを誇りとしていろいろな体験を通して故郷を愛する人に成長して欲しい。そんな願いをもって学校などの教育現場での演奏活動を続けておられます。

文面では曲の素晴らしさやダイナミックな箏の音色をお伝え出来ないのが残念ですが、箏の響きは語りの歌詞と相俟って天地創造の力強さを感じました。
(応援隊：米田 静子・平見 幸子)



稲家さん直伝

写真撮影のコツ



- ・ 沢山写して目を肥やすこと。
- ・ 人物の顔を撮る時は目線を揃えて。
- ・ 中心にしたい物は、やや斜めから。
- ・ 立ちポーズは、少し下から。
- ・ 逆光の場合はシャッターロックで。

※ 稲家さんの写真講座は
中田会館で第1火曜日19:00 ~



11月10日まで淡路文化会館の一室に、A3伸びサイズの写真が36枚展示されています。稲家ワールドへ足を運んでください。懐かしい写真に出会えますよ。

(応援隊：平見 幸子・米田 静子)

パタンパタパタ♪…海が見えるのどかな田園に囲まれた織工房から、昔から伝わるはた織り機の懐かしい音が聞こえます。その織工房 “いろいろ” で手織りをしている山下絵里さんにお話しを伺いました。

山下さんは、倉敷本染手織研究所で基礎を学んだ後、沖縄宮古島で布作家の仲宗根みちこ氏に師事し、3年後に生まれ故郷の五色町鳥飼に戻り織工房を始めました。今年で15年になります。織工房の中には織り機が2台、糸をまく糸車や和筆筒などが置いてあり、レトロ感が漂います。元々物づくりに関心があった山下さんは、織物の糸を染めるために藍や綿の木などを栽培したり、近くの山へ染色の材料となる草木の採集にでかけたりしています。そんな手間暇かけて染めた糸は、なんとも言えない自然のい〜い色味で染まっています。その糸を糸車で巻き、それを織り機のたて糸やよこ糸にセットして織っていきます。気の遠くなるような手作業で、帯を織るだけでも1か月近くかかるといいます。



糸車
倉敷く沖縄宮古島で織物を勉強してきた山下さん

織 いろいろ 工房

カルカヤと玉葱の皮で染めた糸

織工房の一室には作品が展示されています。着尺、帯、ショール、テーブルセンター、小物など、一つ一つの作品への想いと手間が感じられる素敵な作品ばかりです。思わずある歌手が歌う『糸』の歌詞を思い出しました。♪縦の糸…横の糸…織りなす布は、いつか誰かを暖めうるかもしれない…と。

山下さんは「展示会などでたくさんの方に見てほしい。手織りはとても時間がかかりますが、使い捨ての時代だからこそ、気にいったものを愛着をもって長く使い続けてほしい」と話してくれました。

山下さんの想いがこもった作品を紙面で伝えきれないのが残念です。今年の展示会は終わりましたが、前日までに連絡をすれば工房で見せていただけるとのことです。彩りゆたかな織物の美をご覧ください。こと間違いなしです。

(応援隊：瀬戸 由美子)

自然の優しい色合い

木綿のショール



麻の九寸名古屋帯



木綿の着尺

【所在地】洲本市五色町鳥飼浦373-2
【連絡先】山下 絵里
携帯: 090-4033-3347
*織工房に行かれる場合は、必ず前日までにご連絡ください。
【HP】 <http://ituiro5.com>

やってみよう!

スマホでアート

スマートフォンが普及し以前より気軽に写真撮影ができるようになりました。また撮影した画像をアプリで画像処理しSNSやメールで共有して楽しめます。

これからの季節、山は紅葉し、朝は霜が降り夕暮れが早くなり長い影や夕照。雨が降れば虹が出るのかとワクワク♪光や季節によって世界の見え方が変化します。コロナ禍の今こそあなたも、淡路島を散策して「スマホでアート」してみませんか〜。

(応援隊：竹代 結)

LESSON1 夕焼け



夕暮れの斜光線を利用して撮影してみましょう。

LESSON2 紅葉



暗い背景を選び紅葉の見せたい部分だけを切り取る構図で撮影してみましょう。

LESSON3 海

海岸に落ちているものを利用してトンネル構図で撮影してみましょう。





シャッターアート

南あわじ市福良

南あわじ市、福良コミュニティ消防センターに、巨大なシャッターアートが登場しました。描いたのは東京などで活躍する油彩画家、成田雄智（なりたゆうち）さん（27）。

企画したのは、武政彰吾（たけまさしろうご）さん（25）東京出身。観光客が多い「道の駅福良」周辺から町中へ人の流れを作る試みとして福良シャッターアートプロジェクトを企画しました。キャンパスは、縦3.8m、横4.35m。海辺の消防団の屯所（とんじょ）のシャッター。

シャッター全体を海に見立て、手のひらや指を使って、渦潮や海の荒々しさを表現。そして心を動かされた淡路の夕日に照らされた雲も描きました。まさしくそれは福良の海。そして中央には人から船が生まれるような構図。これはアート制作中に多くの地元の人々のやさしさにふれ、中央に人を描こうと思ったからとか。応援隊が心動かされたのはシャッターアートはもちろんの事、それが生まれたいきさつです。武政さんは友達三人と「なんかやってみようね」と起業を決意。イベントを開催したり、海外に行ったり。そして知り合いがいなくて行ったことのない淡路島に到着。自称ホームレス。淡路島の中でも福良が気に入り、知らない人に泊めてもらったり、食べさせてもらったり。生かされた感を感じた町・福良。それに何か答えたいと移住を決心。今は地域再生協働員として活動をしています。地域再生のヒントはこのような地元の人との心の交流にもあるのかもしれない。

（応援隊：村上紀代美、坂本厚子、川原雅代）



ダイナミックなシャッターアート！

シャッターアートプロジェクト進行中！



油彩画家 成田 雄智さん

福良の人と町に恩返しプロジェクト実行中



地域再生協働員 武政 彰吾さん

2016年津井活性化委員会が町おこしのために、地元の子供たちの原画を元に絵師のfuuyanmさんが津井地区に唯一あるトンネルに描いた長さ28m高さ5mの壁画が、とてもフォトジェニックな観光スポットとして雑誌などで取り上げられています。前から行ってみたいと一人で近くをウロウロしてみたものの、たどり着く事が出来なくて断念した事が2、3回ありました。今回は取材に行く為、南あわじ市津井の市民交流センターでしっかり地図と目印を教えてもらって無事到着。



かわいい写真が撮れるよー！

津井の子どもたちの絵がトンネルアートになっています。



つつい行きたくなるトンネル

南あわじ市津井

トンネル壁画

地元の人に詳しく聞いて行かなくてはなかなか到着するのは難しいところですが・・・「つつい行きたくなるトンネル」と言うだけあって、見つけた途端「わあーかわいいー」と歓声を上げました。渦潮 玉ねぎ だんじり船 シラス アンモナイト30種類の可愛い絵がトンネルいっぱい描かれていました。



短いトンネルなので外からの日光も差し込みやすく、天気が悪い日でも写真撮影を楽しむことができそうです。《グーグルマップス》お気に入りの1枚を撮りに是非是非、津井の町に探検に行ってみてください。（応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代）

※ 津井市民交流センターの中にある「津井活性化委員会」で、トンネルに描かれているイラストが入った日本手ぬぐいを販売中。とてもかわいらしかったですよ。



淡路文化会館からのお知らせ

『いざなぎ学園』大学・大学院

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、以下のことを徹底し、「うつらない」・「うつさない」に努めています。

【会館の対応】

- ・検温の実施
- ・消毒液の設置
- ・座席間隔の確保
- ・定期的な換気

【受講生が守ること】

- ・手指の消毒
- ・マスクの着用
- ・対人距離の確保
- ・大声での会話を控える
- ・会食は控える



兵庫県淡路県民局からのお知らせ

安全運転相談ダイヤル#8080をご存じですか？

加齢に伴い、視野障害や筋力の衰えなど身体機能が低下すると、運転操作のミスへとつながります。これにより、重大な交通事故を引き起こす危険性が高まります。

「周りが見えづらくなった」「身体の動きが鈍くなった」「物忘れが多くなった」「運転中ヒヤッとしたことがある」等と感じたら、まずは相談してみましょう。

警察庁・都道府県警察では、運転に不安のある高齢ドライバーやその家族、身体の障害や病気等で安全な運転に支障がある方を対象に、担当職員に相談できる電話窓口を開設しています。



安全運転相談ダイヤル#8080
(通話料は利用者負担)

淡路県民局 交流渦潮室
県民・商工労政課 (消費者センター)
☎0799-26-3360



美術展示について

美術展示室と資料室で展示しています。下表が11月の予定です。ご来場をお待ちしています。

展示会名	場所	期間
八十歳の思い出写真展	美術展示室	10/21～ 11/10 ※
戸塚刺しゅうミニ展	資料室	10/30～ 11/8
淡路津名アートクラブ 作品展	美術展示室	11/12～ 11/23
2020人権尊重ポスター・標語展示	資料室	11/16～ 11/26 ☆

展示時間：9:00～17:00

※11月10日は16:00迄です

☆11月16日は13:00からです

11月26日は14:00迄です

マスク着用をお願い

ウイルス感染防止のため、
マスクの着用をお願いいたします。



兵庫県 交通安全室よりのお知らせ

令和2年度 兵庫県高齢運転者事故防止対策事業補助金のご案内

75歳以上

※令和3年3月31日までに75歳以上となる方

アクセルとブレーキの踏み間違い時の事故を抑止するため、安全装置の購入・設置に係る費用の一部を補助します。

補助金額 22,000円

(購入及び設置費用が22,000円を下回る場合はその額(千円未満切捨)となります。)



申請書類は取扱店舗、兵庫県ホームページから入手できます。

兵庫県 高齢運転者 踏み間違い

検索

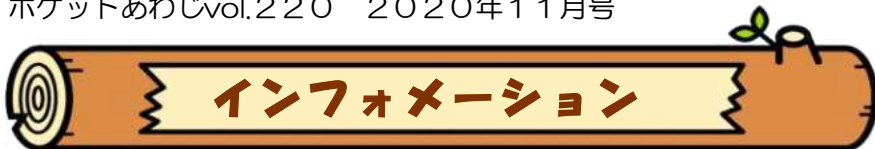
QRコードはこちら⇒



<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk15/koureiunten.html>

※予算の額を超えた場合は、年度途中でも受付を中止することがあります。

【お問い合わせ先】 兵庫県交通安全室
078-362-9072



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路人形座公演案内

〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 ㊟0799-52-3072

定時公演

福を授けます 戎舞

時 10:00, 11:10, 13:30, 15:00

① 「バックステージ」

「人形解説」

「戎舞」

¥ 大人1,800円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円

② 「人形解説」

「戎舞」

¥ 大人1,200円 中高生800円 小学生600円 幼児200円

③ 「バックステージ」

「人形解説」

¥ 大人800円 中高生600円 小学生400円 幼児100円
土曜日、日曜日、祝日の11:10, 13:30

④ 「人形解説」

「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

¥ 大人1,800円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円
【8日(日)14日(土)15日(日)21日(土)は除く】

※ 上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください

※ 30名以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。(15日前までの事前予約が必要です。)

臨時公演：9:00、16:00

※【11月の休館日】4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)

12月の特別公演

第7回 阿波路会

**竹本友和嘉・鶴澤友勇
女流義太夫公演**

【日時】12月20日(日)
開場 17:30 (開演 18:00)

「演目解説」正井良徳〔公益財団法人淡路人形協会理事長〕

**「生写朝顔日記 宿屋より
大井川の段」(素浄瑠璃)**

㊟大人 前売り1,000円/当日1,500円
学生(高校生以下)・淡路人形座サポートクラブ 無料

※ 未就学児は入場不可
※ 前売り券発売中(全席指定)
主催：淡路人形座・阿波路会

**淡路人形座へご来座される
お客様へのお知らせとお願い**

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

**◆兵庫県立淡路夢舞台温室
「奇跡の星の植物館」**

〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎ 0799-74-1200 ㊟ 0799-74-1201

時 10:00~18:00 (最終入館は閉館の30分前まで)

㊟ 9月19日(土)~11月8日(日)

㊟ 入館料：一般1,500円、70歳以上(要証明)750円、高校生以下無料

〇フラワーショー「月の庭」

〇令和草木奇品家雅見

〇武士道と園芸

—盆栽と万年青と古典菊—

◆淡路市立しづかホール

〒656-2132 淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001 ㊟0799-62-6465
Mail : info@shizukahall.com
休火曜休館

しづか少年少女合唱募集

初心者でも大歓迎です。みんなで合唱する楽しさを体験してみませんか。

※初回体験無料 随時募集中!!

【日時】11月7日(土)、11月14日(土)
14:00~15:30

【場所】しづかホール リハーサル室
【対象】小学生~

【料金】¥1,000 (月2回)

JAZZ DANCE 教室

子どもから大人まで、初心者でも大歓迎。一緒に楽しくDANCEしましょう。

※初回体験無料 随時募集中!

【日時】11月6日(金)、13日(金)、20日(金)

○キッズ：17:00~18:30

○フリー：19:00~20:30

【場所】しづかホール ホール

【対象】○キッズ：~小学生

○フリー：中学生~

【料金】○キッズ：¥3,150 (月3回)

○フリー：¥3,300 (月3回) or 都度払い ¥1,200

《申し込み・問い合わせ》

しづかホール
TEL: 0799-62-2001
MAIL: info@shizukahall.com

--- イベント情報 ---

『おやこオイリュトミー』(10月終了)

Kodomo Art Fes

「アートにふれる3日間」

Awaji長澤自然育児の会“わわわ”
(5周年記念)

『ぬらし絵&フォルメン』

【日時】11月14日(土) 13:00~ 幼児
14:30~小学生

【場所】旧尾崎アートスクール
淡路市生穂1731

『アドベントガーデン』りんごろうそく

【日時】12月5日(土)
15:00~りんごろうそく作り
16:00~アドベントガーデン

【場所】ノマド村 淡路市長澤727

※無料ですが、申し込みが必要です。
参加ワークショップ・名前・年齢・連絡先を記入して、メールでお申し込みください。

【申し込み】わわわ事務局

✉ kobitonoie1219@gmail.com



お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎ 0799-74-0250 ㊟ 0799-74-0256
 時 10:00～18:30
 休 毎週木曜日/祝日の翌日
 (祝日翌日が、土日または祝日の場合、その祝日以降最も近い平日)

ふだんぎコンサート

お年寄りから乳幼児まで楽しめる「ふだんぎコンサート」。11月は、2回公演です。
 ①11月8日(日) ②11月29日(日)
 ※ いずれも14時開演。入場料は無料です。

クリスマスコンサート

日時：12月6日(日) 14時開演
 日頃からサンシャインホールで練習している、少年少女合唱団、凜々倶楽部(ハンドベル)、そして「ふだんぎコンサート」のメンバーが出演し、ちょっと早いクリスマスをお届けします。

編集だより

実りの秋、芸術の秋、でも今年はコロナ禍で作品の発表場所が限られます。制作時はそんなことは考えた事もなかったと思います。しかし、作品は無くなりません。来年に向け今以上の良い作品が出来上がることを期待します。
 10/24(土)に、めざせ！世界遺産 3海峡クリーンアップ大作戦【鳴門・紀淡・明石】として、海岸清掃活動が島内3海岸に分かれて計画されました。数年前から小学生5,6年生を対象に「渦潮の学習」として各学校を回り出前講座を実施してきましたが、今年はコロナ禍の為出番がありませんでした。観光立島淡路島に少しでも近づけるように、来年も頑張りたいたいものです。ご協力を宜しくお願いします。
 (応援隊 岡 まさよ)

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎ 0799-25-3321 ㊟ 0799-25-3325

第73回洲本市美術展

【日時】10月30日(金)～11月3日(火・祝) 9:30～18:00
 (最終日は16時迄)
 【場所】会議室1A・2C
 【料金】無料
 日本画・洋画(版画)・書・彫塑・工芸・写真の6部門を対象とした公募展です。
 【問い合わせ】洲本市教育委員会生涯学習課
 ☎ 0799-22-3321

ミニチュアル・コンサート

板倉ピアノ教室の生徒らによる発表会です。
 【日時】11月7日(土)
 【場所】文化ホール「しばえもん座」
 【料金】無料
 【問い合わせ】板倉ピアノ教室
 ☎ 0799-23-1574

防火ポスター展

島内3市の小・中学生の防火ポスター作品展です。
 【日時】11月9日(月)～11月15日(日)
 【場所】エントランス
 【料金】無料
 【問い合わせ】淡路広域消防事務組合
 ☎ 0799-24-2410

**大阪音楽大学音楽専攻科生徒による
 オータムコンサート
 音楽のトビラvol.6**

【日時】11月21日(土) 開場 14:30 開演 15:00
 【場所】文化ホール「しばえもん座」
 ～プログラム～
 1. エルガー 愛の挨拶
 2. V.ブラウン他 「ジョイフルジョイフル」
 3. ベートーヴェン エリーゼのために
 4. チャイコフスキー バレエ組曲【くるみ割り人形】作品71より「葦笛の踊り」「トレバック」(4手連弾)
 5. ヨハン・シュトラウス1世 ラデツキー行進曲(6手連弾)
 6. シュライナー インマークライナー
 7. サン＝サーズン 動物の謝肉祭(専攻科生全員による演奏)
 【問い合わせ・チケット販売先】洲本市文化体育館 ☎ 0799-25-3321
 ※ 前売り券販売開始日未定 全席指定

**第50回
 洲本市小中学校造形展**

洲本市の小中学生とあわじ特別支援学校の生徒による作品展です。
 【日時】11月21(土)～11月23日(月・祝) 10:00～19:00
 (初日13時より、最終日16時迄)
 【場所】会議室1A
 【料金】無料
 【問い合わせ】洲本市造形教育連盟
 五色中学校 木下秀次
 ☎ 799-35-0316

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会

㊟ 656-1521淡路市多賀600

☎ 0799-85-1391 ㊟ 0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp

H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

